

# SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.164＞ 2022年6月20日号

## かわらばん特別企画「修養団と私」

1月号よりスタートいたしました「修養団と私」。毎月、組織間交流や運動推進の原動力として、各地で活動されている方々に特別寄稿いただいております。

### 修養団と私

日立システムズ五十鈴会 事務局 道廣 雅彰



修養団との最初の出会いは…。

思い起こすと、1982年4月に会社入社直後に行われた合宿研修の朝の体操だったと思います。そうです。永遠とやり続ける『天突き体操』です(この時で毎朝20分くらい？ヨイショーしてました)。

それから時を経て、1993年8月の新任昇格者の夏合宿。運が良かったのか悪かったのか、この同じ合宿で仲良くなったメンバーが人事課だったんです。「道廣さん。修養団って知ってます？」「知る訳ないじゃん。何それ？」「当社は毎年冬に修養団が行っている伊勢研修に参加しているんで、じゃあ道廣さん行ってみましょう！」

こうして1994年の『冬』に見事、水行を体験することになった次第です。研修終了後、間髪入れずに会社の先輩から「うちの会社で社会貢献活動を行っている電サ五十鈴会に入会しな。わかってるよな。」と言われ、「はい」か「わかりました」の選択肢しかない先輩の後ろに付いて行くこととなりました。

今思うと、とても良い出会いをさせていただいたと思います。信条である「愛」と「汗」。人を愛し汗をかく。汗をかくことで人を愛す(間違えていたらすみません)。

また、今までの講話で強く心に刺さったことを書きたいと思います。それは、『視点を変えて見て、考える』と言うことでした。「あなたは何の仕事をしているの？」「コンピューターの修理をする仕事をしています。」「そうじゃないでしょ？仕事は手段であって、それは人のお役に立つための仕事をしているんでしょ」と返され、「はっ」とさせられました。当時、私の仕事は早く修理して当たり前であり、修理してもお客様によっては怒られるばかりで少々仕事が嫌になっていた時でした。「そうか。俺は人がお役に立つためにこの仕事をしていったんだ。」と初めて気付かされました。

それからと言うもの仕事に対してのモヤモヤが晴れ、

会社外の人たちにも、「私は人の役に立つための仕事をしている」と言えるようになりました。



【修養団日立システムズ五十鈴会 定期総会にて、前列、左が本人】  
また修養団を通じて出会えた多くの素敵な人たち。なんて人懐っこい人が多いのかと驚きました。会って飲んで直ぐ大切な友だちです。修養団を通じて、様々な意見をぶつけ合える人たちがたくさん増えました。最近はなかなかお会いできる環境ではありませんが、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

### 道廣 雅彰さんへ《質問コーナー》

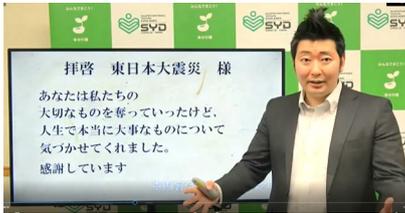
- ① 好きな言葉 → 「ありがとう」  
感謝の言葉は誰でも言われると嬉しいですね。
- ② 私のおすすめの本 → 最近本読んでないで、アニメ映画を紹介します京都アニメーションが手掛けた、「聲の形(こえのかたち)」です。友だちとの関係、差別、いじめが題材の青春アニメですが、なんとも言えない重たい内容です。割と大人向けのアニメだと思います。
- ③ 好きな食べ物 → 「日本酒に合うもの全般」
- ④ 趣味 → 「スタートレックのグッズ収集」
- ⑤ 最近はまっていること、または始めようとしていること → 「自宅の映画館化(プロジェクターと音響にこだわりiMAX化を目指してます)」
- ⑥ 夢(子どもの頃と現在)  
→ ・子どもの頃は、JALのパイロットかプロ野球選手  
・今は静かに一人旅(身体が動けるうちに)
- ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ  
→ 「これからも宜しくお願いいたします。」

➡ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

主催事業・活動等

報告

5/28…第1回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」「自分らしさを愛する」  
27人〔東京都渋谷区・SYD会議室〕 《谷野渉》



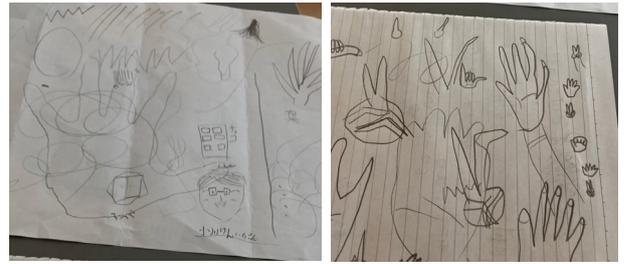
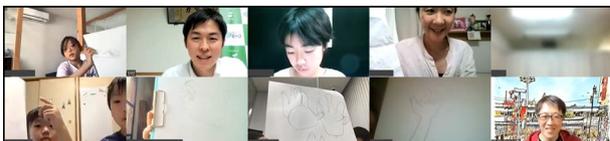
本団講師による講演会の本年度第1回目(通算4回)として、谷野渉講師補が講演。SYDの活動を通して、自分を肯定する大切さと成長できたことを具体的な体験を踏まえ伝えた。会員組織の方を中心に27人が聴講され、講演後の情報交換会には15人が参加し親睦を深めた。

6/3…「修養団評議員会」〔東京都・SYDホール〕

6/12…第1回「Zoomでオンライン家庭《共育》ひろば」「感情をこめて線を描こう」41人  
《小川けんいち》



イラストレーター・グラフィックデザイナーで、伊勢の講習会に参加されたこともある、小川けんいちさんがワークショップを交え講演。感情を込めて描くことの大切さや、自分の手を描くことで、「こんなことがあった、こんなことを思い出した」など、気づきや発見があった。ウマイ、ヘタではなく“絵を描くことは楽しい”ということ思いださせてくれた。



★「WAKU×2ボランティアリーダー研修会」  
6/4～5…伊勢 18人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕 《山崎政弘》



中学生から社会人までが参加。SYDについての講話や末広がり発想法を用いての「理想のリーダー」についての話し合い学習のほか、野外炊事、出し物の発表等のプログラムを実施。なかでもグループで協力して課題を解決するイニシアティブゲームが好評であった。

今年は解散時間を遅くし、ゆとりを持ってプログラムを進めることができたと同時にメリハリのある研修となった。

6/4～5…北九州 10人〔福岡県北九州市・市立玄海青年の家〕 《板倉和也》



8月の本番に向け、安全面を確認しながらナタの使い方など野外炊事の実際のほか、アイス作りなどにも挑戦、プログラムの予行をおこなった。今年のテーマは「夏祭り」で、ミニゲームの内容を中心に協議した。

白いTシャツに油性ペンで色をつけてからアルコールでにじませるものや大きなフォトフレームを作るなどゲームで使う小道具を製作した。

**6/11～12… 桧原湖畔** 17人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ〕〔三瓶利正、谷野渉、鈴木綾〕



今回は桧原湖畔キャンプといばらきキャンプの合同リーダー研修を実施した。

テント設営や野外炊事などキャンプの基本的なことを実践したほか、救命法ではコロナ禍に対応した方法を学んだ。また、三瓶利正修養団福島県連合会事務局長が「夏季キャンプに寄せて」という演目で青少年の健全育成やリーダーの役割について講話した。3年ぶりのキャンプに向けてやる気・元気を培った2日間となった。



**【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】**

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

**報告**

- 6/13 北海道白老東高等学校 107人
- 6/17 福岡県・久留米大学附設中学校1学年 176人

**予定**

- 6/20 沖縄カトリック小学校・中学校
- 6/21 沖縄市立越来中学校2・3年
- 6/22 沖縄市立越来中学校1年
- 7/ 8 北海道幕別町立糠内中学校

**予定**

**6/24… 第14回「チャリティー演芸会」“笑顔でひとときの巻”〔東京都・SYDホール〕**

今回は蝶花楼桃花、立川らく次、春風亭一左、立川らく人の各氏による落語をお楽しみいただきます。収益金は、フィリピンやブラジルなどのストリートチルドレン等の支援のために使わせていただきます。

**7/2～3…「夏のみがく特別講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田敦宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》**



**7/4…「後援会役員会」〔東京都・SYD中会議室〕**

**7/10…「子どもWAKUひろば」(東京)“七夕まつり”〔東京都渋谷区・SYDホール〕 《谷野渉》**

**7/24… 第2回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会”“修養団と私”～二つの苦難の克服～** 《三瓶利正》

**★「WAKU×2ボランティアリーダー研修会」**

**6/26… 東京〔東京都・SYDホール〕 《谷野渉》**

**7/9～10… 鹿児島〔鹿児島県鹿児島市・八重山公園てんがら館〕 《志村和也》**

**7/9～10… 瀬戸内海〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ村〕 《板倉和也、増田航介》**

**会員組織の主な動き**

**報告**

**6/10… 修養団愛汗喜多方「令和4年度理事会」** 14人〔福島県喜多方市・厚生会館〕《保坂正志》  
冒頭、新型コロナウイルス感染予防のため、

理事会を「総会」に代えて実施することが決議された。

令和3年度の事業と会計の報告のあと、今年度の事業として、10回目を迎える「愛と汗」幸せの種まきセミナー(旧称:愛汗実践塾)の実施、「日々の力」の学校・公民館への配布、福島県連合会や山都愛汗の会との連携強化について協議、承認された。

また、保坂正志社会教育部長が、今夏の「子ども自然体験キャンプ」の進捗状況、およびその他SYD本部の現状について説明をおこなった。



## 予 定

6/25…修養団愛汗郡山「令和4年度総会」〔福島県郡山市・ベルヴィ郡山〕  
《保坂正志》

## 情報あれこれ

### ⊗ウクライナ難民支援のため

「幸せの種まき献金」をモルドバへ



6月2日、岩佐理事他職員2名が東京都内にあるモルドバ共和国大使館を訪問し、避難民支援金として、「幸せの種まき献金」300,000円をドゥミトル・ソコラン駐日大使に手渡した。

同国は、ヨーロッパで貧しい国と言われ厳しい経済状況にもかかわらず、2月以降ウクライナからの避難民を積極的に受け入れ、現在も約8万人が引き続き滞在している。大使によると、受け入れ難民の4分の3は家庭で受け入れ、また学校の先生、医者、看護師としてモルドバで就労をしている難民も多くいるとのこと。モルドバへの支援方法としては金銭のほか、「モルドバ製品(ワイン、蜂蜜、ジャム等)を購入することも支援につながる」とのこと。(イン

ターネットでの通信販売のほか、東京都内には専門の店舗もあります)

東日本大震災の際には同国より日本政府に対し支援金が送られている。

SYDの「幸せの種まき献金」では、ストリートチルドレン支援のほか、国内外の災害や戦争避難民の支援なども引き続き実施しております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

### ⊗修養団役員改選

6月3日をもって修養団の理事・監事の任期が満了し、公益財団法人修養団定款第29条に基づき定時評議員会において選任がおこなわれた。(以下敬称略)

理事: 重任13名、新任2名、退任1名

#### 【新任理事】

清水 潔(弁護士)

鈴木 みゆき(國學院大學教授)

#### 【退任理事】

草原 克豪(在任期間24年)

#### 【重任理事】

安仁屋 聡、岩佐 加寿子、岡村 精二、新海 一正、鈴木 優子、鈴木 義信、武田 数宏、西村 清、根岸 秋吉、平岡 真一、真下 淳一、真船 幸夫、御手洗 康

監事: 重任1名、新任1名、退任1名

#### 【新任監事】

笠原 隆(北越コーポレーション(株)執行役員)

#### 【退任監事】

板垣 和彦(在任期間5年)

#### 【重任監事】

川村 泰利

また、その後「条件付書面理事会」において理事長、専務理事、常務理事が下記の通り選任された。

【理事長】御手洗 康

【専務理事】根岸 秋吉(事務局長)

【常務理事】武田 数宏(伊勢青少年研修センター所長、関西会館所長)

### <発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2  
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424  
E-mail: info@syd.or.jp  
ホームページ: https://syd.or.jp/

SYD 検索